

3大学シンポジウム「トランプ時代における国際秩序変容と北東アジア」を開催

2025年11月14日（金）、立命館大学東アジア平和協力研究センターは、立命館大学コリア研究センターとの共同企画で、立命館大学・吉林大学・東国大学 日中韓3大学シンポジウム「トランプ時代における国際秩序変容と北東アジア」を開催いたしました。

本シンポジウムは、第二期トランプ政権発足とともに考えられる国際秩序の変容をめぐり、北東アジアがいかに対応すべきかを中心に、各分野の専門家を招聘し、貴重な知見を共有する場となりました。内容としては、アメリカの影響を強く受ける北東アジアの各国の対応を大きく日本、韓国、北朝鮮、中国に分けて議論することにより、その相互作用などに関する深い議論が行われました。特に、中国・韓国の大学からの研究者を招聘したことにより、日本国内ではなかなか拝聴出来ない知見の共有や新しい観点からの議論が繰り広げられました。

立命館大学東アジア平和協力研究センターでは言語や分野に囚われず、様々な研究団体との学術交流を積極的に行っております。

●詳細

日時 2025年11月14日（金）10:00-18:00

会場 立命館大学衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム

主催 立命館大学東アジア平和協力研究センター、立命館大学コリア研究センター

共催 吉林大学東北アジア研究院、東国大学北韓学研究所

後援 韓国国際交流財団（KF）

●参加者

中戸祐夫（立命館大学東アジア平和協力研究センター センター長）

宋基燦（立命館大学コリア研究センター センター長）

張慧智（吉林大学東北アジア研究所 副所長）

金容炫（東国大学北韓学研究所 所長）

君島 東彦（立命館大学国際平和ミュージアム 館長）

中達 啓示（立命館大学）

文京洙（立命館大学）

崔正勲（立命館大学）

張瑛周（立命館大学）

金秀炯（立命館大学）

黃鎮台（東国大学）

朴炯紀（東国大学）

朴英愛（吉林大学）

金香丹（吉林大学）

王簫軻（吉林大學）

任慕（吉林大學）

馬場一輝（海上保安大學）

フライヤー

立命館大学・吉林大学・東国大学 日中韓3大学シンポジウム
〈トランプ時代における国際秩序変容と北東アジア〉



日時：2025年11月14日（金）10時～18時 ※日本時間

会場：立命館大学平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム（衣笠キャンパス内）

言語：日本語、中国語、韓国語 ※同時通訳

※注意：通訳をお聞きになられるためには、Zoomがインストールされ、かつ使用可能なスマートフォンなどの通信機器とイヤフォンをご持参いただく必要があります。

参加方法：参加無料、事前登録必要（対面のみ、定員30名：先着）

開会挨拶 10:00-10:10

第1セッション 10:10-12:00

「米国の戦略転換と国際秩序変容」

第2セッション 13:00-14:50

「国際秩序変容に対する北東アジア各国の対応」

第3セッション 15:00-16:50

「トランプ時代における北東アジア地域協力」

第4セッション 17:00-18:00

「総合討論」

※プログラムは変更される場合があります。

事前登録
(対面参加)



R 東アジア平和協力研究センター
RICKS Center for Peace and Cooperation in East Asia



吉林大学东北亚学院
Jilin University Northeast Asia Institute



東北亞研究 韓國人연구소
The North East Asia Studies Institute of Korea University
CHIK



KOREA FOUNDATION

主催：立命館大学（コリア研究センター・東アジア平和協力研究センター） 共催：吉林大学東北アジア研究院、東国大学北韓学研究所 後援：韓国国際交流財團（KF）

お問い合わせ：choi-j-h@fc.ritsumei.ac.jp

メディア関係者の方はこちらへお問い合わせください。

当日の写真

